

高知県地域少子化対策強化事業計画の概要 (平成25年度2月補正予算)

(単位:千円)

1 切れ目のない支援を行うための仕組みの構築

切れ目のない総合的な支援体制づくり 14,692

「高知家の出会い・結婚・子育て応援コーナー」を開設し、ライフステージに応じた相談へのワンストップの情報提供や総合的な結婚相談を行う。

- ワンストップでの情報提供【次頁】
- 結婚支援相談窓口の設置による総合的な結婚支援【下記参照】



官民共同による出会いと子育て応援フェア等の開催 7,540

高知県少子化対策推進県民会議との連携により、結婚から子育てまで全てのステージを一体的に応援するフェアを開催し、多くの県民や団体に子育ての楽しさや家庭を持つことの大切さなどを啓発する。

- 地域や企業の応援活動紹介、体験型ブースの設置、ミニセミナー開催
- 県民参加事業(作品募集)の実施、表彰等

2 結婚に向けた情報提供等

結婚支援相談窓口の設置による総合的な結婚支援 【再掲】

常設の結婚支援・相談窓口を開設し、相談員と婚活サポーターが連携して結婚を希望する独身者へのきめ細かな支援を行う。

- 高知家の出会い・結婚・子育て応援コーナーでの相談、休日・出張相談
- 婚活サポーターの情報交換・研修会

婚活セミナー、独身者育成セミナーの開催 4,779

結婚を希望する独身者を交際から成婚につなげていくため、独身者の状況に応じた段階的なセミナーを開催し、スキルアップを図る。

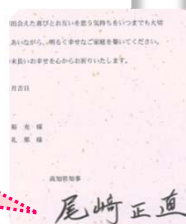
- マナーなどの基礎的セミナー、人間総合力を高めるためのセミナー
- 地域における婚活セミナー講師の育成

新たな結婚総合応援サイトの構築 7,869

県の結婚支援事業を利用する独身者が利用登録を行うことで、利用者の参加状況や要望等を把握し、ニーズに合った支援策に繋げていくために、システム化したサイトを構築する。

- 利用者・応援団体の登録・管理、
- 参加申込・情報提供システム等の構築
- 結婚支援事業の総合的な広報

成婚者には
記念品のほか
知事直筆の
お手紙も!



3 妊娠・出産に関する情報提供

妊娠・出産に理解を深めるための男性への知識の啓発 1,002

人工妊娠中絶や10代の性感染症、受動喫煙や早産等の課題に応じたリーフレットを作成し、男子生徒や妊娠期のパートナーなどへの啓発を行う。

- 性に関する知識等、男子生徒版の思春期ハンドブックの作成・配布
- 父性意識の啓発等を目的としたパートナー向けリーフレット作成・配布



性と生殖に関する健康支援事業 735

思春期保健・母子保健・家族計画等の情報を、男女ともに提供するリーフレットを作成し、18~25歳頃の若い世代に正しい情報提供・啓発を行う。

- ファミリープラン啓発事業(リーフレットの作成、配布)
- 健康支援人材育成事業(女性の健康管理に携わる行政関係者等の研修)



4 結婚・妊娠・出産・育児しやすい地域づくりに向けた環境整備

「高知家の産後ケア」体制づくり 2,219

本県における産後ケアのニーズを把握し、実情に合った産後ケアサービスを全ての市町村で受けられる仕組みを検討する。

- 出産後1年未満の母親に対するニーズ調査
- 助産師会・看護協会・市町村・母親の代表者等による検討会
- 市町村担当者等を対象とした研修会



企業の子育て支援の促進 1,164

(乳幼児健診を活用した子育て支援事業)

仕事で平日に休めない等の理由により受診率が低迷している乳幼児健診について、健診の意義や必要性を県民はじめ事業所にも啓発し、就業者に受診を促すなど子育てにやさしい環境づくりを進める。

- 健診受診への理解を促進するポスター作成、事業所への掲示
- 商工会議所連合会、中小企業団体中央会、経営者協会、法人会連合会等の団体を通じて、乳幼児健診をはじめ様々な子育て支援策を周知啓発



切れ目のない総合的な支援を行うための仕組みの構築

高知家の 出会い・結婚・子育て 応援コーナー (仮称)

【開設時期】 26年7月
【設置場所】 少子対策課内
※H27～は庁外を検討
【設置者】 県 (法人会に運営委託)

①切れ目のない情報提供の相談窓口【新設】

【役割】
ライフステージに応じた相談内容
にワンストップで情報提供

【機能】
・既設の窓口で行われている
支援に関する情報提供
・相談者の状況に応じ、最適
な専門窓口につなぐ
・適宜、情報を
更新していく

・法人会が
雇用
委託
県
・情報収集など、
開設に向けた
業務を統括
・開設後も一定
のサポート



②結婚支援の相談窓口【新設】

【役割】
結婚を希望する独身者への総合
的な支援

【機能】
・結婚を希望する独身者等の
相談
・婚活サポーターによる支援
・様々な婚活情報提供
・独身者のスキルアップの
ためのセミナー等の実施
・婚活サポーター間の研修、
情報交換 など

・法人会が
雇用
委託
県
・県の関連業務
を引継ぎながら
サポート

◆2つの相談窓口の機能を一元化して開設

○「切れ目のない情報提供」は新たな取組であり、「結婚支援の相談窓口」の機能と併せて、2名の相談員が双方の業務に柔軟に対応できる体制とする。

将来的には、機能の拡充を含めて効率的な人員配置での対応の検討を行う。

○「切れ目のない情報提供」でワンストップでの情報提供を行った後、相談者が実際に結婚や子育てなどの具体的な支援制度を利用するにあたっては、それぞれの専門窓口に向向くことが必要。その際、同時期に開設する「結婚支援の相談窓口」が同じ場所であれば、結婚相談に関しては別途向向く必要がなく、利用者の利便性が向上する。

◆切れ目のない情報提供事業のイメージ

○下記のような既設窓口におけるサービスや手続き、具体的な相談内容・対応等の情報を幅広く集約・整理し、既設の窓口間との連携手法を構築。

○最終的には、市町村役場など相談者に身近な場所で、手続きを行う際に情報提供も受けられるようになればより効果的であり、併せて、その手法も検討していく。

<既設の相談窓口(例示)>

【妊娠・出産】

- 市町村(保健福祉センター)
・妊娠・出産に関する相談
- 不妊専門相談センター
・不妊の医学的・専門的相談
- 福祉保健所
・不妊相談、治療費の助成申請
- 思春期相談センター
・思春期の性に関する相談

など

【子育て】

- 市町村(保健福祉センター)
・乳幼児健診、育児相談、助成制度等
- 市町村(保育担当課)
・保育全般(病児、一時預かり等含む)
- 地域子育て支援センター
・子育て相談、発育相談 等
- こどもこども救急ダイヤル
- 療育福祉センター
・発達相談、心理検査 等
- 児童相談所
- 児童家庭支援センター
・子どもの行動などの相談

など

【就職】

- 女性のための就労支援コーナー
・女性の再就職支援
- ハローワーク
・職業紹介、職業相談、再就職支援 等
- ジョブカフェうち
・就職に関する相談・情報提供
- 母子家庭等就業・自立支援センター
・母子・父子家庭の自立支援のための情報や就職時の助言等

など

スケジュール

○3ヶ月(4～6月)を準備期間とし、県と法人会が協働で、情報の集約・整理やOJTによる研修などを行ったうえで、7月に開設予定。

○その後も引き続き、子ども・子育て支援新制度への移行に伴い拡充される市町村の保育サービスなども含め、新たな情報の収集・調査・分析等を行う。